

# モニター通信 No.1

皆さんから寄せられた「モニター通信5月分」を紹介します。

## 「新型コロナウイルスによる買い占めについて」

～マスク果てはトイレットペーパーなど、ウイルス拡大に伴い買い占めが発生しました。あなたはこのような状況にどのような行動を取りましたか～

### モニターから No.1

私は、特にトイレットペーパー等について買い占めはしませんでした。その当時発生、現在（4月中旬）もですが、ホームセンターやドラッグストアに於いてマスクの品切れが継続的に発生しているので、それによる購買行動として開店前より店頭に並んだ記憶がありますが、結果的に品物の入荷が無く空振りになった日が結構ありました。しかしながら、買い占め等の行為に対しては、ある一部の心無い人の、根も葉もない情報をネット上に拡散させ一般の人々を不安に落とし入れた行為は正に犯罪そのものであり、その当事者には厳罰を科すべきと思います。デマだから信用しないで冷静な行動をと呼び掛けるも、既に時期遅きに失したことだったと思います。

今後このような一般の人を扇動し、得意となる輩が発生することは予想だになると思います。正しい情報を的確に吸収する術を常日頃より全身で体得すべく、誰もが安心して生活出来る社会構造になって行けば幸いと思います。

### モニターから No.2

2月初旬、ダイヤモンドプリンセス号で発症者が出たというニュースがあって、まもなく食べ物関係の仕事をしている友人に会った。「マスクが少なくなってきたから買っておかないと」と言っていた。私は少し在庫があるし、それ程深く考えていなかったが、彼女が言っていたことが本当に起こってしまった。我が家にはリスクを抱える者もいるし、「どうするの?」と言われた。しかし、慌てても仕方ない。無ければ作れば良いと考えていたので、深刻にはならなかった。幸い救急箱にはまとまった量のガーゼの買い置きがあるので、家族分と洗い替え分を作った。しかし、その時はまだほとんどの人が手作りマスクなど付けていなかった。みんなにジロジロ見られ、いきなりマスクをつかんで「作り方教えて」と言う人も出てきたため、恥ずかしい思いもしてしまった。もちろん今では手作りマスクが一般的になったので、そのようなこともなくな

った。その後知り合いに声をかけ、50～60枚程作ったと思う。ミシンもなく手縫いではあるが、かなり喜んでもらい、ちょっとしたボランティアが出来て嬉しかった。

(ちなみに何故我が家にまとまった量のガーゼがあったのかというのは、前に書いたようにリスクのある者がいるため。また、マスクゴムの買い占めもあったというが、早い段階だったので店にも大量にあった。)

またトイレットペーパー等の日用品は日頃のストック分があったので、行列などは経験せずに済んだ。しかし、本当に困っている人もいたと思うので、一概に非難することは出来ない。それよりもそれを利用し高額で売り付けたり、転売したり、この時とばかりに詐欺を働いた者がいたと思うと非常に悲しい。これからも何が起きるか先が見えない世の中ではあるが、せめて身近な人とは繋がり助け合っていきたいと思う。

### モニターから No. 3

正直なところ、私自身が情けなかったのである。ただ周囲の行動に流されていたにすぎない。中国・武漢から発生したといわれる新型コロナウイルス。たったそれだけの情報で、トイレットペーパーは中国からの大量移送なのだというもってもらしいシナリオがねつ造され、人々を買い占めへと煽った。古新聞の再生紙を原料とするトイレットペーパーの製造工程を、私は知っている。にもかかわらず、隣近所の方々に国内産であることを伝えることもできず、ただオロオロしていただけであった。

一方、マスク不足は相変わらず深刻である。安倍首相は、世帯ごとに何度でも洗って使える綿マスク配布へと踏み切ったが、はたしてコロナウイルス縮減の一環として有効な手段なのであろうか。もっとも、大手企業参入によるオリジナルマスクの製造は今後も持続可能であろうし、私自身もマスク生地を無償で提供できるようなシステムづくりを模索している。

だが、何よりもコロナ感染を完全にシャットアウトしてくれる特効薬（ワクチン）の一日でも早い開発こそ急務であろう。私は感染症の専門家ではないから、薬のことは何もわからない。でも、微力ながら薬の普及活動には、全身全霊で取り組む覚悟でいる、それこそが、私の新型コロナウイルス撲滅に向けての最終行動なのである。

### モニターから No. 4

世界の人々が経験したことのない新型コロナウイルス（COVID-19）が拡大し始め、その上学校が休校。人々が不安に駆られている中、ドラッグストアに買い物に行ったら駐車場は満車。買い物カートもほとんどない事に驚き、

何が起きているのか理解出来ないまま店内に足を踏み入れたら、レジは長蛇の列。皆、トイレットペーパーやティッシュペーパーをカートの中に山のように積み、並んでいる。「これ何事！」とびっくりして目的の品の前に行くと、その間店員がどんどん出すトイレットペーパー・ティッシュペーパー等々、紙製品を奪うように取り合っている。

途中、友人に会い「今日、何でこんなに混んでいるの」と聞いたら、トイレットペーパーはほとんど中国からの輸入品なので、COVID-19が拡大している今、不足するとネットで流れたという。ようやく「オイルショック」という言葉が頭をよぎり、空になったトイレットペーパーやティッシュペーパーの棚を横目で見て、不安いっぱい帰宅した。その道中のカーラジオや帰宅後のTV放映で、トイレットペーパーは日本でも作っているのに、買い占めは悲しいことだし、買い占めをする愚かさを訴えていることに安心したことを覚えている。そして大丈夫、大丈夫、我が家は山のようなトイレットペーパーやティッシュペーパーを備蓄するほど家は広くないと納得したが、一階と二階にあるトイレの棚を慌てて確認したのは否めない。人は空になった店舗の棚を見て、不安を感じるのには仕方がないのだろうか。

その後、マスク不足に始まり巣ごもり対策のカップ麺・スパゲティ等々の長期保存食品に到るまで「一家族おひとつだけ」「マスク入荷未定」の貼り紙にびくびくしていたが、結局備蓄に励まずとも不自由なく生活でき、今に至っている。乾物の保存食材や缶詰の消費や冷蔵庫の整理で、食材を工夫することで食生活も身の周りを整理することで、精神的には豊かな生活をする事が出来、ポジティブに考えればコロナ効果が出ているのかな？とも思っている。アベノマスクより先に手作りマスクが流行していることを考えても、日本人のがまん強さはきっと新型コロナウイルスの拡大さえも必ず押さえ込むことが出来ると信じている！コロナに負けるな、コロナなんかには負けない！！

## モニターから No. 5

今年度の消費生活モニターレポートは、たいへんな時勢の時に始まった。かつて、わたしたちの祖父・父たちは真実を知らされずにお国のためだと言われて、撃ったこともない鉄砲を持たされて戦争に勝つためにまずは生きて帰れないと知りつつ戦場に行かされた。その子孫であるわたしたちに同じ政府が今回のウィルスとの戦いに勝つためには、おとなしく家に居てくれ、それが最良の戦略だと言う。戦う相手が異なるとこうも戦い方が異なる。

祖父や父たちは、戦場に赴くにあたって仕事を休んで妻子を置いていくのだから休業補償をよこせとは言わずに黙って出て行った。休業補償をよこせと言ったら非国民とされて、ただでは済まなかったことだろう。残された母の言う

ことを聞いて満足な食べ物もなく終戦まで我慢した、子供らしい遊びもせずに、「欲しがりません、勝つまでは」と。その子孫であるわたしたちは、ウィルスとの戦いに勝つために家にいてやるから休業補償をよこせと騒ぐ。休業要請を無視してたった一軒強引に営業するパチンコ屋に、行列してまで大人が遊びに行く。日本人はなぜこんなにも変わってしまったのであろうか。トイレットペーパーなどを、ほかの人に取られまいと買い占める浅はかな行為まで。

わたしはこのようなことを考えつつ、どうせ日本はすぐに元に戻るのだからと、何も買い占めたりしなかった。いずれ自然と消耗品は供給される、そのような消耗品を作る工場などが爆撃で壊されたわけではないのだからと。食品にしても同じ。買い占め騒ぎがあって一カ月、もう世の中に品物は溢れている。生鮮野菜も肉も魚も。現代の、とくに若い人たちには、権利ばかり主張せず義務を果たしながら、もう少しその生活・人生を余裕をもって過ごすよう勧めたい。もう一度言いましょう「欲しがりません(ウィルスに)勝つまでは」と。

#### モニターから No. 6

新型コロナウイルスの拡大で、日本全体（今や世界中ですが）が、今までかつて経験したことのない事態に陥っています。恐らく、このテーマが決まった時点では、このような状態は想像できなかったと思います。店頭からマスクが消え、お店にはトイレットペーパーを購入する人たちの長蛇の列。それに波及して、ティッシュペーパー・ポケットティッシュまで無くなる事態となりました。幸い我が家では多少のストックがあったので、並んでまで買うということにはなりませんでしたが、並んでいる様子を見ているだけで、私も買わなくてはという心理状態になったのも事実です。日頃から、必要な数のストックを心掛けることが大事だと痛感しました。トイレットペーパーの問題は、SNSからの間違った発信が原因だったようですが、今後は情報が正しいかどうか見極める目と知識が必要になってくると思います。

茨城県においては非常事態宣言は解かれましたが、油断せず自粛を心掛けていきたいと思います。

#### モニターから No. 7

我が家では買い占めはしていません。偶然にも妻の持病で夜寝る時にマスクが必要とされていたので、在庫がかなりありました。（人に分けてあげられる位）例のごとく処方箋でいっぱい数を購入していましたから、不幸中の幸いでした。

買い占めは反対です。気持ちは凄く判りますが絶対必要な人、少し我慢すれば何とかなる人、家から出なければマスクも必要ありませんし、日頃から非常

事態に備えていれば少しは役立ちます。東日本大震災の教訓も余り生かされていませんね。もう10年経ちますからみんな忘れ掛けています。ここでもう一度考え意識を変えてみたいと思います。

#### モニターから No. 8

我が家ではトイレトペーパーもマスク（夫婦共々花粉症のため）も余分にあったが、集団心理で少しは買っておいの方がいいかと、ホームセンターに出かけた夫に頼んだ。マスクは全く無く、トイレトペーパーは一家族1つでレジ待ちの長い列にならび、大変だったと言われた。そのうち、製紙会社の方が「トイレトペーパーは在庫が十分にあります。」とテレビで言うようになり、どこの店にも出回ってきて安心した。

マスクは、学校に行く孫用が無いので、何度も足を運びやっと数枚を買った。ではマスクを作ろうとガーゼの布やゴム紐を買い求めたが、適当な強さのゴム紐が売り切れでなかなか見つからず何軒も訪ね歩いた。最近になって、マスクも少し安くなり、ゴム紐もやっと出回ってきたようである。ワクチンも予防注射もまだ出来てないウィルスの第2波・第3波の感染拡大に備え、マスク作りをまだ続けていきたいと考えている。

つくづく、ネットや人の噂に惑わされない冷静な情報収集と判断が必要だと感じた次第である。

#### モニターから No. 9

マスクは毎年花粉症の為多少在庫していましたが、主人の通院用が不足気味なのでドラッグストアへ行ったものの時遅し！やっと見つけたものの通常2倍近いお値段でしたが買いました。トイレトペーパーもどこに行っても空棚！やっと巡り会え、我が家の在庫ピンチを助けてくれました。SNS情報のスピードたるや、大したものです。日常必需品であり、先を見据えての在庫確保であってもその行動が買い占めに繋がる事にもなるのでは？と思います。

今回のマスク不足で学べたのは手作りマスクです。今までの概念を越えて素材もデザインも自由で、素敵で思わず笑ってしまうような！作り手の心が伝わる思いでした。コロナで沈みがちな心を払ってくれるような温かい連鎖に、日本にも優しい人が身近にまだまだ沢山います！！

#### モニターから No. 10

今年1月下旬よりスーパーマーケットやドラッグストアにて使い捨てマスクが品薄状態になり、各店舗にて使い捨てマスクを購入しようと来店した人達を見かけるようになりました。その人達は口々に「ここにもやっぱりマスクがな

い、他の店に行ってみよう」と、使い捨てマスクを探し回っているようでした。さらに知人より「トイレットペーパーがどこにも売っていない、皆買ってしまっただけで消えた」と教えていただき、その時に初めて全国でトイレットペーパーの買占めが起きたことを知りました。我が家では幸いにもトイレットペーパーを購入したばかりだったので安心したことを覚えています。連日テレビの報道番組ではトイレットペーパーを買占めせずに冷静に行動すべきだと注意喚起がありました。その後は小麦粉やホットケーキミックスの商品等の買占め、転売が問題になっています。次々に起こる商品の買占めに対し、各自が今一度冷静に自粛生活を送ることが大切だと考えています。

#### モニターから No. 11

今回の買占めの騒ぎでは、気がついたらスーパーやドラッグストアからマスクやトイレットペーパーがなくなっているという状況でした。マスクについては、店頭から消える前に家には去年の残りが10枚あまり、プラス以前鳥インフルエンザがはやると言われていた時に買っておいたマスク1箱(60枚)があり、しかも使い捨てのマスクも洗えば10回以上使えるという情報が入ってきたり、友人から手作りのマスク30枚が送られてきたりして、全くあわてることはありませんでした。トイレットペーパーに関しては、買占めが起きる少し前に18ロール入りを一つ買っていました。この量だとわが家では2ヶ月近くもつという事もわかっていたので、こちらの方も特にあわてたり、探し回ったりすることなくすみしました。これはただ運がよかったというだけだと思っています。もしトイレットペーパーがなくなりかけた時に買占めが起きていたらと思うとぞっとします。今回のことで、生活必需品はあらかじめ余裕を持って準備しておくことの必要性を痛感しました。

#### モニターから No. 12

新型コロナウイルスには戦後作り上げた生活の仕方を反省させられました。いろいろな苦難を乗り越えて近年やっと世界の人々と肩を並べられる生活ができるようになり、穏やかな人生が送れるかなあと思っていた矢先、1月末にこのような事態に陥り世の中が真っ暗になりました。TVのどのCHに回しても新型コロナウイルスの情報ばかりです。この情勢下でマスクを始めとしてトイレットペーパー等衛生用品の買い占めがあり、SNSのデマ情報、メディア買い占め報道に消費者は強烈な打撃を受けました。商店には開店と同時に並んでいた列が押し寄せて、その浅ましさに目を見張りました。この状態はデマと周知されていても一週間以上続きました。土浦を選んで人生を全うしようと思っていた私には、あまりにも情けない絵幕でした。

そんな中、4月末マスクらしい小包が黒い厚手のビニール袋に包まれて送られてきました。送り主は不明、差出人は配送業者と書かれていました。悩んだあげく、私たちの消費生活センターに通報しました。センターの指導では、その小荷物は「受け取り拒否」と書いて郵便局より返送してくださいとのことでした。ご指示通りに行動し処置をしましたが、後のことを考えると怖さを覚えました。その後は異状なく現在に至っています。

ここで行政の方々をお願いしたいのは、今回のように送り主不明とした荷物は配送業者に配送させないようにしてもらいたいと思います。以前もこのような例がありましたが、この時は送り主が娘であったことが解り事なきを得ました。

コロナウィルスはまだまだ蔓延すると思います。自宅での外出自粛・テレワークが要請されている今日、人里離れた丘陵地帯の散歩・小さな家庭菜園作業・読書・TVで過ごしていますが相手の正体が不明で最も危険なコロナウィルスには焦らずじっくりと国・県・市町村の指導に従って生活をしていくことを基本とし、隣同士皆が協力し合って生活を続けていくことが大切と考えます。

今こそ私達モニターは、消費生活センターの指針に沿って「オレオレ詐欺」等悪質な行為に対して立ち向かう体制を整えましょう。土浦市の災害情報メールでも政府給付金等の注意情報が出され始めました。主に高齢者・一人暮らしの方が狙われています。消費生活センター主導の元、不正行為に対する注意喚起を展開し、市民の意識高揚に努めたいです。

一日も早く新型コロナウイルスが撲滅され正常な社会・健康な社会に戻りますようお願いします。